

2024年1月17日

リマ2024 U20世界陸上競技選手権大会  
日本代表選手選考要項

1. 編成方針

メダル数を重要視し、U20カテゴリーにおけるトップレベルの競技者で複数の金メダルを目指す選手団を編成し派遣する。さらに、ジュニア期の育成過程に配慮し、将来性を見込んだ競技者を選考することで、シニアカテゴリーの強化につなげる。

2. 開催地

リマ（ペルー）

4. 開催期間

2024年8月27日（火）～31日（土）

5. 開催種目

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、110mH(99.1cm)、400mH(91.4cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、ハンマー投(6kg)、やり投(800g)、十種競技

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、100mH(83.8cm)、400mH(76.2cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1 kg)、ハンマー投(4kg)、やり投(600g)、七種競技

（3）混合

4×400mリレー

6. 選考競技会

（1）トラック&フィールド

- ・第108回日本陸上競技選手権大会混成競技（2024／岐阜）
- ・第40回U20日本陸上競技選手権大会混成競技（2024／岐阜）
- ・第108回日本陸上競技選手権大会（2024／新潟）
- ・第40回U20日本陸上競技選手権大会（2024／新潟）

（2）競歩

- ・第35回U20選抜競歩大会（2024／神戸）

## 7. 参考競技会（競歩のみ）

- ・第48回全日本競歩能美大会 U20男子10kmの部・U20女子10kmの部・高校男子10kmの部
- ・アンタルヤ2024 世界競歩チーム選手権大会
- ・ドバイ2024 U20アジア陸上競技選手権大会

## 8. 選考基準

編成方針に基づき、ワールドアスレティックス（以下WA）が定める本大会の参加資格を満たした日本国籍競技者の中から、エントリースタンダードの枠数に則り、各種目、下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

### （1）トラック&フィールド（男女3000mを除く。）

- 1) 選考競技会に出場し、その成績及び選考の対象となる資格記録から、本大会のメダル獲得が期待される競技者。※
- 2) 選考競技会に出場し、その成績及び選考の対象となる資格記録から、本大会の入賞が期待される競技者。※
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者。ただし、選考においては、競技規格・記録・気象条件等を総合的に勘案する。

※「選考の対象となる資格記録」は以下 10. に示す。

### （2）男女3000m

- 1) 第40回U20日本陸上競技選手権大会に出場し、その成績及び選考の対象となる資格記録から、本大会のメダル獲得が期待される競技者。※
- 2) 第40回U20日本陸上競技選手権大会に出場し、その成績及び選考の対象となる資格記録から、本大会の上位入賞が期待される競技者。※
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者。ただし、選考においては、記録・気象条件等を総合的に勘案する。

※「選考の対象となる資格記録」は以下 10. に示す。

### （3）競歩

選考競技会で6位以内の成績をおさめた競技者の中から、以下の優先順位で選考する。

- 1) 参考競技会において、その成績（記録・順位・気象条件等）と歩型違反による失格のリスクの程度も勘案したうえで総合的に判断し、本大会のメダル獲得が期待される競技者
- 2) 参考競技会において、その成績（記録・順位・気象条件等）と歩型違反による失格のリスクの程度も勘案したうえで総合的に判断し、本大会の上位入賞が期待される競技者
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

### （4）リレー種目

個人種目のエントリー状況を鑑みて、編成方針に準じて日本代表チームの派遣を検討する。また、派遣する場合の選考にあたっては、選考競技会の成績を基に、リレーの特性を考慮して選考する。

## 9. 選考方法

- (1) 選考基準に則り強化育成部による選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事の承認をもって決定する。
- (2) 選考にあたっては、強化と育成に配慮する。

## 10. 選考の対象となる資格記録

本選考要項内で用いる資格記録の有効期間は、本大会参加標準記録の有効期間開始日から、選考競技会当該種目終了時点までとする。

## 11. エントリールール

- (1) 対象者は、2024年12月31日時点で16歳、17歳、18歳または19歳の2005年1月1日から2008年12月31日生まれまでの競技者。
- (2) 参加標準記録の有効期間は2023年10月1日から2024年8月4日まで。
- (3) いかなる記録もWA競技規則を遵守した公式の競技会で達成され、WA、そのエリア陸連、またはその加盟国陸連が主催あるいは公認する競技会で達成されなければならない。ワールドランキングコンペティション（WRK対象競技会）での記録のみが参加標準記録の対象となる。
- (4) 各種目最大2名の競技者が出場することができる（リレーは除く）。ただし、ユース競技者（2007年または2008年生）が出場できる種目数は最大で個人2種目といずれかのリレー1種目までとする。そのうち200mを超える種目は、リレーを含み2種目までとする。
- (5) 追い風参考記録（風速+2.0m/秒超）は認められない。
- (6) 室内記録は、エントリー記録として認められる。
- (7) 手動計時による記録は、800m以下の種目では、エントリー記録に認められない。
- (8) 競歩は、道路における記録も認められる。また、ペナルティゾーンを使用したレースの記録も認められる。
- (9) 200m以上の競走種目において、オーバーサイズ室内トラックで達成された記録は、エントリー記録に認められる。

## 12. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟または大会主催者が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとし、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
  - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
  - 2) 怪我等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
  - 3) 前記（2）を遵守しない場合
- (4) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。

以上